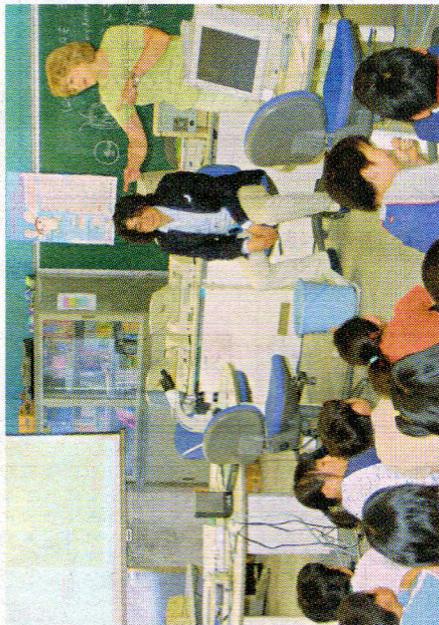


先生は米国の大学博士！

藻類の生態観察

気仙沼市 鹿折小 環境教育で授業

気仙沼市の環境教育を視察するため同市を訪れている米国テキサス州のテキサス・クリスチャン大学博士のジャネット・



4年生に、バケツから採取した藻類の解説をするケリーさん（右端）

ケリーさんが十九日、気仙沼市鹿折小（菊地敏郎校長児童三百九十四人）で、四年生に藻類の生態などを教える授業を行った。

授業は「気仙沼を知ろう」をテーマにした総合学習の一環。同校では児童が水桶のバケツ栽培をしているが、今回は五月に種を直しました。そのバケツに張ってある水に注目。水の中で繁殖した藻類を、ケリーさんと宮城教育大の島野智之准教授を講師に学んだ。

会場のスクリーンには、小中学生の環境教育に必要な機材を貸し出す

宮城教育大ライブラリー「えろふえ」から借りた特殊な顕微鏡を使って、緑色の丸い形をした無数の生き物が活発に動き回る姿が映し出された。

ケリーさんは、これがクミドモナスと呼ばれる藻類の一種であることを紹介。種と共生している様子を伝え「二本のへん毛で活発に動き回るのが、動物ではなく植物の一種」「光を感じることでできる『目』がある」などと解説、児童を驚かせた。

授業を受けた佐藤祐実さん九つは「植物の藻類が活発に動いていたのにはびっくり。ケリーさんの授業はとても面白かった」と感想を話した。

ケリーさんは、日本フロンティアメモリアル基金マスターティーチャープログラムで気仙沼高、面瀬中、鹿折小三校で環境教育を研修しているテキサス州のカリスバタ小、中、高校教師らとともに気仙沼市を訪問中。この日は二人のほか、宮城大職員の目々沢紀子さん、国連大学高等研究所の望月要子さんも鹿折小を訪れ、授業を参観した。

ひるば

気仙沼市水梨小4年

尾形 唯さん(9)



地元気仙沼市赤岩の水田で行われた「御田植え祭」に、早乙女として参加しました。家は農業ですが、はだしをする田植えは、これまで学校でしかやったことがありませんでした。

はぐにゃっとして、軽はないよじにするのが大変でしたが、水が温か

くて楽しかったです。腰をすっどかがめする作業はちよところからたかな。まっすぐ植えたつもりだけ、曲がってしまいました。

田植えは面白いです。今度は家の手伝いもしてみたいです。

はだしの田植え楽しい

ニュース時事能力

あなたの時事力を

戦後の歴代内閣の就任期最も適当なものを次の①～④



- ① 中曽根康弘
- ② 佐藤栄作
- ③ 小泉純一郎
- ④ 小泉純一郎

難易度★★★ 4級 想定問題より

ニュース時事能力検定試験

ただいま第1回検定受付中!



サンマリン気仙沼ホテル観洋

7/1 日

10:00AM~3:00PM
会場/3Fマリンビュー

これから会場を...とお考えの方々に

スライダール何でも相談会
新作ドレス試着&撮影会

